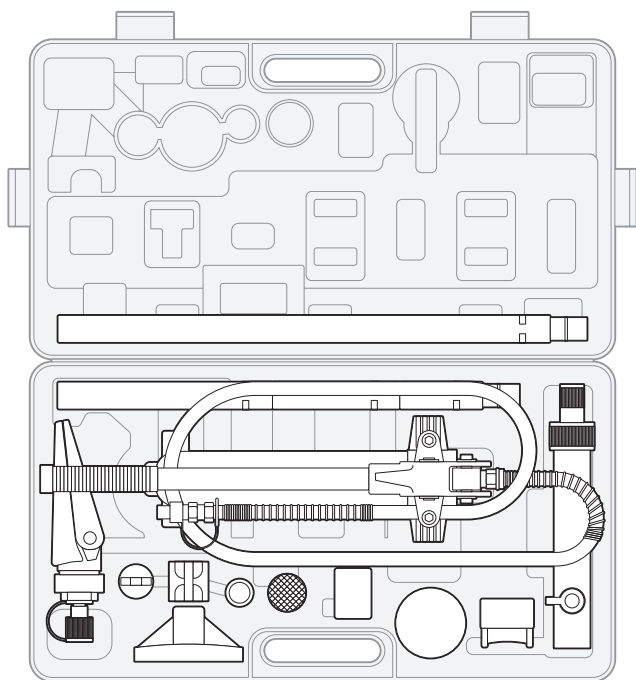


AP060176

4TON ロングラムジャッキセット(15点組) 取扱説明書



アストロプロダクツ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず、この取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は、いつでも見るできるように保管してください。

実際の商品と、取扱説明書内の図では、色や形状が異なる場合がありますので、ご了承ください。

目次

1.	はじめに.....	3
2.	取扱説明書について.....	3
3.	製品安全上のご注意.....	4
	▲警告.....	4
	▲注意.....	6
4.	製品使用上のご注意.....	7
	▲警告.....	7
	▲注意.....	10
	重要.....	10
5.	製品仕様.....	11
6.	製品特徴.....	12
7.	各部名称.....	13
8.	使用前準備.....	14
9.	使用方法.....	20
10.	メンテナンス.....	21
11.	トラブルシューティング.....	22
12.	保管.....	23
13.	廃棄について.....	23
14.	個人情報の取り扱い.....	23
15.	製品保証規定.....	24
16.	修理規定.....	24
17.	お問い合わせ先.....	25
	■カスタマーサービス.....	25
	■販売元.....	25

1.はじめに

- 使用前に、取扱説明書をよく読み、安全に正しく使用してください。
- 安全上の注意や商品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、購入された商品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品は、車両のボディやフレームなどの、歪みや凹みの修正に使用する油圧工具のセットです。本来の用途以外に使用しないでください。

2.取扱説明書について

- 当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または一部を複製および改修し、無断で転載することは、禁止されています。
- 取扱説明書および本体に貼り付けられた重要ラベルの安全に関わる項目には「」マークを使用しています。製品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものなので、必ず守ってください。
- 取扱説明書をなくしたり、重要ラベルを汚したりせずに、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。
- 警告、注意および重要事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全に関する表示について

表示	意味
 警告	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される」内容のご注意。
 注意	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される」内容のご注意。
重要	この表示内容は、「商品を正しく使用するため」に守らなければならない要点。

注意マーク



注意すること

禁止マーク



してはいけないこと

指示マーク



必ず行うこと

3.製品安全上のご注意

⚠ 警告



注意

- 作業に集中すると、周囲への安全確認が疎かになり、事故を招く恐れがあります。
 - ・ 作業手順や周囲の状況などをよく確認してください。
- 正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、自動車整備士資格を有する方および本製品の使用に関する十分な知識をお持ちで、作業経験豊富な方を対象に作られています。
 - ・ 使用方法が不明で、作業経験のない方が使用すると、ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、車両のボディやフレームなどの、歪みや凹みの修正に使用する油圧工具のセットです。
 - ・ 本来の用途以外で使用すると、ケガや事故の原因となります。



禁止

- 製品に貼られたラベルを汚したり、剥がしたりしないでください。
 - ・ 誤った使い方をすると恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 過労と思われるときや飲酒しているとき、薬物を服用しているときに、使用しないでください。
 - ・ 判断力が鈍り、事故の原因となります。
- 子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 周辺温度が40℃以上になる高温な場所や直射日光下では、使用しないでください。
 - ・ 高温による脱水症状や熱中症になる恐れがあります。休憩をごまめに行い、十分な水分補給をしてください。
- 次の作業環境下では、使用しないでください。
 - ・ 火気のそばや急激に温度上昇する場所
 - ・ 揮発性の高い溶剤などがある場所
 - ・ 通気が悪く、換気のできない場所
 - ・ 暴風雨、降雪、強風、雷などの悪天候時
 - ・ 水がかかる恐れがある場所、多湿、水中、海中
 - ・ 足元が滑りやすく、不安定な場所
 - ・ 急傾斜など、転倒の恐れがある場所

3.製品安全上のご注意

▲ 警告



禁止

- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
 - ・ 特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 以下の服装は、周囲に引っ掛かるまたは巻き込まれるなど、ケガや事故の原因となりますので、そのままの状態や着用することはおやめください。
 - ・ 長髪を束ねずに、そのままの状態にしている。
 - ・ 首にマフラーやタオルを巻いている、ネックレスなどの装飾具やネクタイを着用している。
 - ・ サイズが極端に大きい服装、だぶだぶな衣類を着用している。



分解禁止

- 修理技術者以外の人は、本取扱説明書に記載されていない、本体の分解、修理、改造はしないでください。
 - ・ 異常作動や過熱、発火、感電など、事故の原因となります。



指示

- 必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
 - ・ 使用方法が少しでも不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
 - ・ 誤った使用方法によって生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証および責務を負いかねますので、ご了承ください。
- 安全に正しく使用するため、警告事項を理解し、厳守してください。
 - ・ 警告事項を無視して使用すると、死亡や重傷、傷害など、重大な事故の原因となります。
- 本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。
 - ・ 誤った使い方をする恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 安全に正しく使用するため、使用環境に合わせて、以下の保護具を着用してください。
 - ・ 安全手袋、耳栓やイヤーマフ、保護メガネ、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業ツナギや長袖、長ズボン
- 本製品は、大切に取り扱いってください。
 - ・ 落下などによって、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 使用前や定期的に、各部に異常、不具合、損傷、破損がないか点検してください。
 - ・ 異常や不具合、損傷、破損がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

3.製品安全上のご注意

⚠注意



注意

- 製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合があります。
 - ・購入製品と改良品は、性能などが異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 高温、多湿、結露する場所、塵やホコリがあり清掃されていない場所に保管すると、本体故障の原因となります。
 - ・常温で清潔な場所に保管してください。



禁止

- 損傷がある場合は、保管しないでください。
 - ・損傷がある製品を誤って使用してしまう恐れがあり、ケガや事故の原因となります。



指示

- 使用しないときは、施錠のできる屋内に保管してください。
 - ・思わぬ事故の原因となります。特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

4.製品使用上のご注意

⚠ 警告



禁止

- 本製品は、防滴、防水仕様ではありません。雨降りや水気、湿気の多い場所では使用しないでください。
 - ・ 本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 油圧ラムを複数同時に使用しないでください。
 - ・ 誤使用によって本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧した状態で放置したり、保管したりしないでください。
 - ・ 圧力が抜けてしまう恐れがあり、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 油圧ラムがシリンダーの最後まで伸びきった状態では、使用しないでください。
 - ・ シリンダーが戻らなくなるだけでなく、各部に負荷がかかり、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧中、加圧対象物に近づかないでください。
 - ・ 予期せぬ事態が生じた場合、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧中は、加圧対象物を揺すったり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・ バランスを崩し、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧中、ホースを踏んだり、ホースの上にものを置いたり、落下させたりしないでください。
 - ・ ホースの破断、破裂、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧状態のまま、油圧ポンプから油圧ラムやスプレッダーを取り外さないでください。
 - ・ オイルの飛散、本体故障、物品の損傷、ケガや事故の原因となります。
- ホースが、捻じれた状態では使用しないでください。
 - ・ ホースの破断、破裂、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 部品の交換は純正部品のみ使用し、純正以外の部品は使用しないでください。
 - ・ 作動不良、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- セーフティーオーバーロードバルブは、絶対に操作しないでください。
 - ・ バルブを調節してしまうと、適正な耐荷重を保つことができなくなり、操作不能、作動不良、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。絶対に操作しないでください。

4.製品使用上のご注意

⚠ 警告



指示

- 作業は必ず2人以上で行ってください。
 - ・油圧ラムのシリンダーが伸びて、加圧面に当たるまでは、落下する恐れがあり、1人での作業は本体故障や物品の破損、ケガなど、重大な事故の原因となります。
- 作業を中断するときは、必ず圧力を抜き、無負荷状態にしてください。
 - ・加圧した状態のまま放置することは、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 点検、保管するときは、必ず圧力を抜き、無負荷状態にしてください。
 - ・加圧した状態で点検、保管することは、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- スプレッダーは、能力500kg以下で使用してください。
 - ・耐荷重を超えた使用は、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 各ロッドやアタッチメントは、油圧ラムの能力の50%以下または25%以下で使用してください。
 - ・耐荷重超過での使用は、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 油圧ラムには、必ず各種アタッチメントを取り付けて使用してください。
 - ・誤使用によって、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 加圧するときは、まっすぐ加圧してください。
 - ・斜めに加圧すると、圧力が急に抜ける恐れがあり、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 作業中、加圧箇所から外れる場合があるので、確認しながら慎重に作業してください。
 - ・圧力が急に抜け、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 使用前には、毎回各部の点検を行ってください。
 - ・本体故障や事故を未然に防ぐことができます。
 - ・損傷、破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
- 加圧するときは、リリースバルブを時計回り方向に、最後まで締め込んでください。
 - ・締め込み不足は、作動不良を招き、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 油圧ポンプと油圧ラム、スプレッダーの接続は、確実に行ってください。
 - ・不十分な接続は、作動不良を招き、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠ 警告



指示

- 油圧ラムや各種アタッチメントの取り付けは、奥までしっかり差し込み、確実に取り付けてください。
 - ・取り付け不良は、作動不良、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 作業状況に合ったアタッチメントを使用してください。
 - ・作業に合わないアタッチメントを使用すると、本体故障、物品の損傷、ケガや事故の原因となります。
- 油圧ポンプの操作は、必ずハンドルを手で持って操作してください。
 - ・ハンドルをパイプなどで延長してのポンピングや脚で踏みつけてのポンピングなど、誤使用をすると本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 減圧は、リリースバルブを反時計回り方向に、ゆっくり、慎重に緩めてください。
 - ・急な操作や慎重さに欠ける操作は、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 減圧前に、必ず加圧対象物の周囲に、人、動物、ものなどがないかよく確認してください。
 - ・加圧対象物が倒れたり、落下したりする恐れがあり、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 減圧すると、油圧ラムまたはスプレッダーが落下する恐れがあるので、補助者と共に作業を行ってください。
 - ・落下しない程度に減圧し、加圧対象物および周囲が安全であることを確認してから、補助者が近づくようにしてください。安全が確保されるまでは、絶対に近づかないでください。
- 油圧オイル（作動油）は、必ず無負荷状態で給油してください。
 - ・加圧状態での給油は、適正な量を給油することができず、作動不良、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 誤って油圧オイル（作動油）が目や口に入った際は、次の処置を施してください。
 - ・流水で15分以上洗浄し、すみやかに医師の診断を受けてください。そのまま放置すると、失明する恐れがあります。

4.製品使用上のご注意

⚠注意



注意

- 作業環境温度は、0℃～40℃です。
 - ・ 0℃以下になると、オイルが硬くなり作動不良の原因となります。

重要



注意

- リリースバルブを反時計回り方向に緩め過ぎると、油圧オイル（作動油）が漏れることがあります。
 - ・ リリースバルブを時計回りまで最後まで締め込んだ状態から、反時計回りに1回転以上緩めないでください。



禁止

- ブレーキオイルを油圧オイル（作動油）として、絶対に使用しないでください。
 - ・ 作動不良の原因となるので、必ず油圧オイル（作動油）を使用してください。
- 水をかけて、洗わないでください。
 - ・ サビが発生し、本体故障の原因となります。



指示

- エア抜きは、必ず無負荷状態で行ってください。
 - ・ 加圧状態では、正しいエア抜きができません。
- 油圧ポンプに油圧ラム、スプレッダーを取り付けるときは、カバーナットに緩みがないよう、しっかり締め込んでください。
 - ・ オイル漏れや作動不良の原因となります。
- 油圧ポンプを運ぶときは、本体を持って運んでください。
 - ・ ホースを持って運ぶと、破断する恐れがあり、作動不良やオイル漏れの原因となります。
- 油圧オイルの補充、交換時に、異物が混入しないよう注意してください。
 - ・ 異物の混入は、作動不良の原因となります。

4.製品使用上のご注意

重要



指示

- 油圧オイルの給油、交換後は、必ずエア抜きを行ってください。
 - ・正常に作動しないことがあります。
- 使用前や正常に作動しないときは、エア抜きを行ってください。
 - ・エア抜きを試しても正常に作動しないときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
- 保管するときは、接続部を清掃し、ゴミや汚れが付着しないよう、必ず防塵キャップを取り付け、ケースに収納してください。
 - ・ゴミや汚れが付着すると、オイル漏れや作動不良の原因となります。

5.製品仕様

商品型番	AP060176
商品コード	2006000001762
[セット内容]	
油圧ポンプ(ホース装着済)、油圧ラム、スプレッダー	
サドル、ベース、ウェッジヘッド、ジョイント、スクエアヘッド	
プレートヘッド、ラバーヘッド、トウ	
ロッド	80、130、215、420、495mm
収納ケース	

5.製品仕様

[油圧ポンプ]

能力	4000kg (4t)
ホース長	約1500mm
オイル量	420mL (ISO VG22)

[油圧ラム]

本体サイズ	Φ40×L270mm
能力	4000kg (4t)
シリンダーストローク長	120mm

[スプレッダー]

能力	500kg
開口幅	95mm
爪幅	50mm

[共通仕様]

重量	18.4kg
各種アタッチメント差込径	Φ22mm

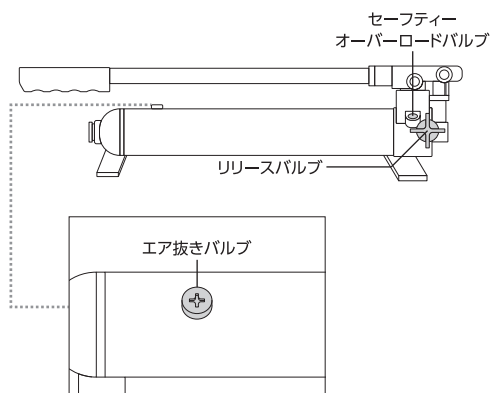
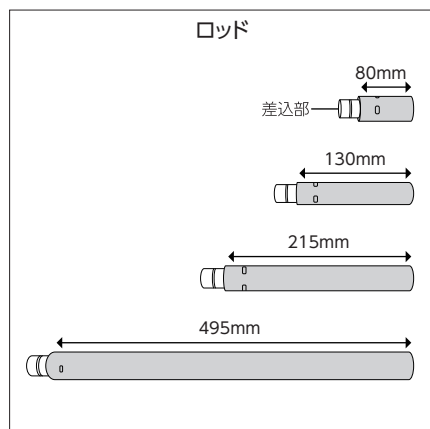
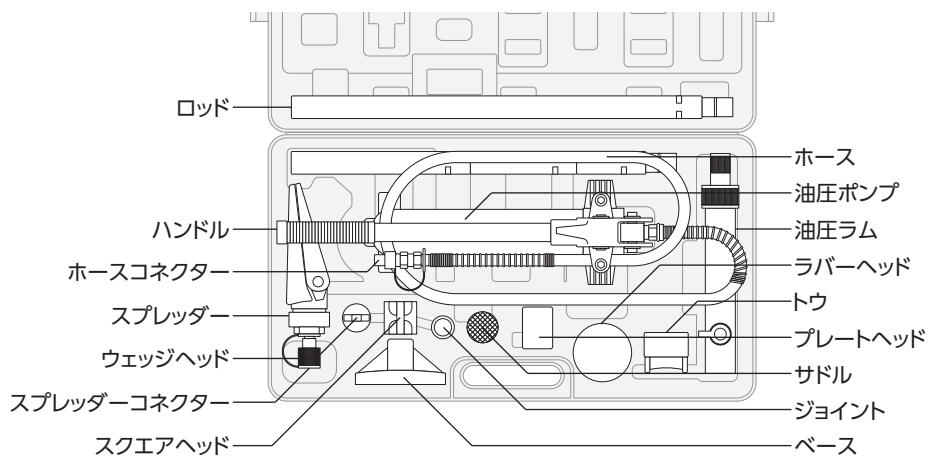
- 商品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 6ヶ月保証対象製品 ([製品保証] 項目参照)

6.製品特徴

- ・車両のボディやフレームなどの、歪みや凹みの修正に使用する油圧工具のセットです。
- ・様々なアタッチメントが付属しているので、幅広い作業に対応します。
- ・収納や持ち運びに便利な、収納ケース付きです。

7.各部名称

各部名称



8.使用前準備

⚠警告



注意

- 本製品は、油圧の力で「押し」「広げ」の作業を行うことができます。
 - ・使用方法や加圧対象物に適した作業を行わないと、本体故障、物品の破損やケガなど、重大な事故の原因となるので、資格保有者または本製品を用いた作業を熟知している方同伴のもと使用してください。

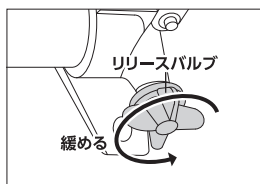


指示

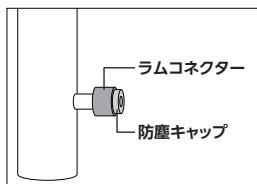
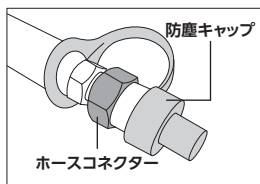
- 初回使用前には、必ずエア抜きを行ってください。
 - ・エア抜きを行わないで使用すると、正常に作動しないことがあります。
- オイル漏れがないことを確認してください。
 - ・オイルが漏れた状態は、作動不良を招く恐れがあり、本体故障、物品の破損、ケガや事故の原因となります。
- 使用前に、必ず油圧ポンプ、油圧ラム、スプレッダー、各種アタッチメントの状態を確認してください。
 - ・損傷や破損のある状態で使用すると、物品の破損、ケガや事故の原因となります。

油圧ラム、スプレッダーの油圧ポンプへの取り付け

- 図は油圧ラムですが、スプレッダーも取り付け方法は同じです。



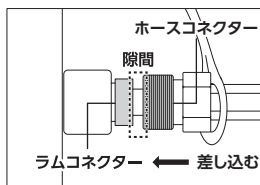
- ①リリースバルブを反時計回り方向に1回転回し、リリースバルブを緩めます。



- ②ホースコネクター、ラムコネクターに付いている、防塵キャップを外します。

8.使用前準備

油圧ラム、スプレッターの油圧ポンプへの取り付け

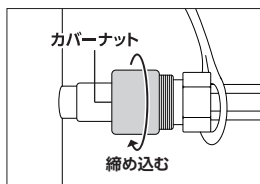
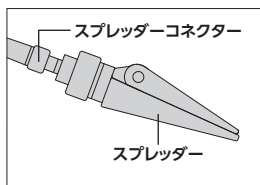


③ラムコネクタに、ホースコネクタを接続します。

※ 奥までしっかり差し込んでください。

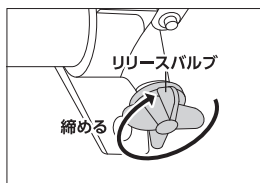
※ 構造上、ホースコネクタを奥まで差し込んでも、ラムコネクタとの間に隙間が生じますが、使用上問題はありません。

※ スプレッターは、スプレッターコネクタに接続します。

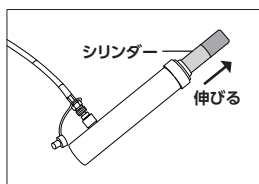
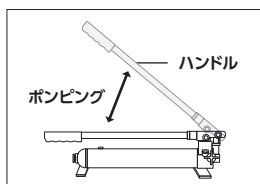


④カバーナットを締め込み、ホースコネクタを固定します。

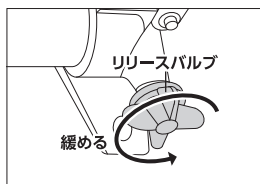
※ カバーナットは手で締め込み、工具を使用しないでください。



⑤リリースバルブを時計回り方向に回し、最後までしっかり締め込みます。



⑥油圧ポンプのハンドルをポンピングすると、油圧ラムのシリンダーが伸びます。



⑦油圧ラムのシリンダーが伸びることを確認し、リリースバルブを反時計回り方向に1回転回し、シリンダーを縮めます。

※ シリンダーが完全に縮んだことを確認してから、取り外してください。

※ ラムコネクタからホースコネクタを取り外すときに、少量のオイルが漏れます。作動に影響はありませんが、定期的にオイル量を確認してください。

8.使用前準備

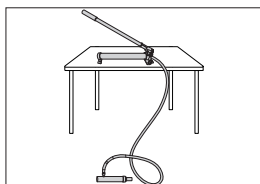
エア抜き方法

⚠警告

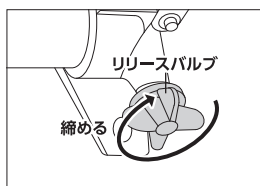


指示

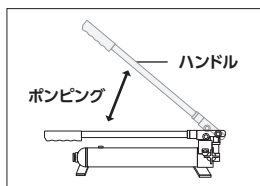
- 初回使用前や正常に作動しないときは、エア抜きを行ってください。油圧ポンプと油圧ラム内に混入したエアを取り除くことで、正常に作動することができます。
- 必ず、2人で行ってください。
- 必ず、油圧ラムを取り付けてください。
- 必ず、初回使用前に、エア抜きを行ってください。
- 必ず、各種アタッチメントを接続しない状態で行ってください。



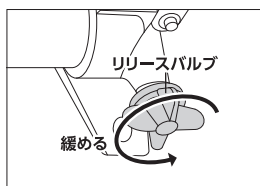
- ① 油圧ポンプに、油圧ラムを取り付けます。
- ② 油圧ポンプを油圧ラムより高い位置に置きます。
- ③ ラムコネクタを上に向けます。



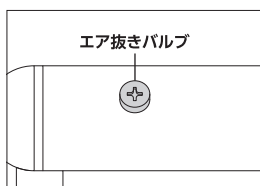
- ④ リリースバルブを時計回り方向に回し、しっかり締め込みます。



- ⑤ ポンピングし、シリンダーを最後まで伸ばします。
※ 最後まで伸び切った状態で無理にポンピングしないでください。



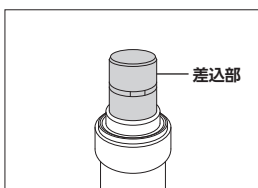
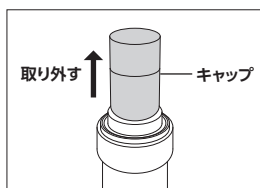
- ⑥ リリースバルブを反時計回り方向に1回転回し、シリンダーを縮めます。



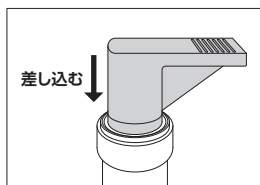
- ⑦ エア抜きバルブを緩め、エアを排出します。
※ エアの排出後は必ずエア抜きバルブを締めてください。
※ ②の状態を保った状態で、③～⑦の作業を数回繰り返します。

8.使用前準備

アタッチメントの取り付け



①油圧ラムのシリンダーに付いているキャップを取り外します。



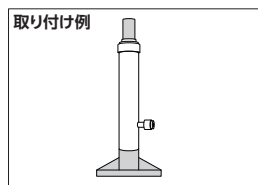
②作業環境に適したアタッチメントを差込部に奥までしっかりと差し込みます。

アタッチメントの組み合わせ

●油圧ラムには、各種アタッチメントを取り付けることができます。作業に適したアタッチメントを取り付けてください。アタッチメントによっては、耐荷重が制限されるので、使用する際、十分注意してください。

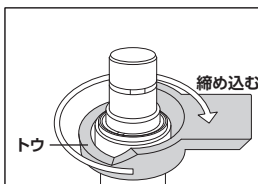
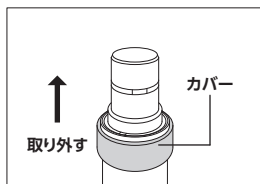
1. ジョイント

- ・油圧ラムにジョイントを差し込むことによって、両端にアタッチメントを取り付けることができます。
- ・シリンダーの反対側にジョイントを差し込みます。



2. トウ

- ・油圧ラムのカバーを外すとトウを取り付けることができます。
※時計回り方向に回し、最後までしっかりと締め込んでください。

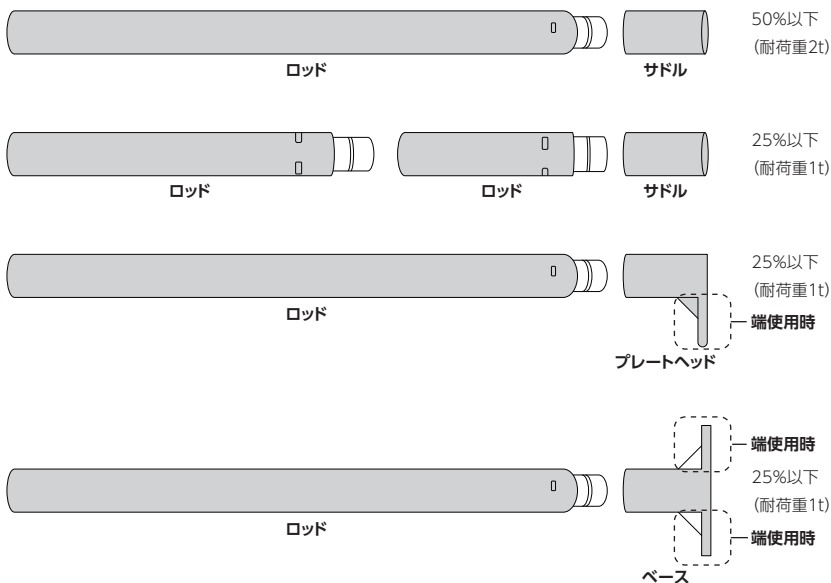


8.使用前準備

アタッチメントの組み合わせ

3. ロッド

- ・ ロッドは接続するごとに耐荷重が減少します。ロッドが1本のときは、ラムの能力の50%以下(耐荷重2t)、2本連結の場合は、25%以下(耐荷重1t)で使用してください。
- ・ ロッドの連結は、長さ問わず3本以上を連結しての使用はできません。
- ・ プレートヘッド、ベースを使用する場合、25%以下(耐荷重1t)で使用し、ロッドは、必ず1本で使用してください(連結不可)。

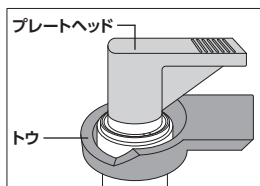


8.使用前準備

アタッチメントの組み合わせ

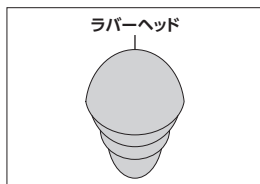
4. トウ、プレートヘッド

- ・ ロッドを連結しての使用はできません。
- ・ 耐荷重は500kgです。



5. ラバーヘッド

- ・ ロッドを連結しての使用はできません。
- ・ ゴム製のため、角のあるところや鋭利になっているところには使用できません。
- ・ 耐荷重500kgです。



9.使用方法

加圧方法

[作業手順]

1. 油圧ポンプに、油圧ラムまたはスプレッダーを接続します。
2. 油圧ポンプを固く平らな場所に置きます。
3. 作業用途に合ったアタッチメントを取り付けます。
4. リリースバルブを時計回り方向に回し、最後までしっかり締め込みます。
5. 油圧ラムまたはスプレッダーを補助者が加圧するところで支えます。
6. ハンドルを上下にポンピングします。
7. シリンダーを伸ばし、アタッチメントを加圧面に当てます。
8. 補助者が手を放しても、落下しない状態で一度ポンピングをやめ、まっすぐ当たっていることを確認します。
9. 補助者をその場から退避させ、加圧面の状態を確認しながら、再度、ポンピングを行い加圧します。
 - ※作業は必ず2人以上で行ってください。
 - ※補助者が退避してから加圧してください。
 - ※加圧するところの状態や状況などによっては、十分な効果を発揮できないことがあります。

減圧方法

[作業手順]

1. 加圧対象物の状態を確認します。
2. リリースバルブを反時計回り方向にゆっくり、慎重に緩めます。
3. 油圧ラムまたはスプレッダーが落下しない程度まで減圧します。
4. 加圧対象物および周囲が安全であることを確認してから、補助者は油圧ラムまたはスプレッダーを支えます。
5. シリンダーが完全に縮んだことを確認してから、各部を取り外します。
 - ※作業は必ず2人以上で行ってください。
 - ※安全を確保したうえで、作業を行ってください。
 - ※急な操作は、油圧ラムまたはスプレッダーが落下する恐れがあります。

10.メンテナンス

定期点検

●故障と事故を未然に防ぎ、安全に使用するため、次の点検を定期的実施してください。

[点検項目]

- (1) 油圧ポンプ、油圧ラムおよびスプレッダーからオイルが漏れていないか
- (2) 油圧ホースに損傷、破損(キズや被覆の破れなど)がないか
- (3) 油圧ラムのシリンダーにサビ、キズがないか
- (4) 各種アタッチメントに損傷、破損がないか
- (5) スプレッダー可動部や各種アタッチメント差込部に潤滑剤を注油またはグリスを塗布

オイル交換

●1年に1回、油圧ポンプのオイルを交換してください。

- ・ オイル : 油圧オイル(作動油)ISO VG22
- ・ オイル量: 420mL

[オイル交換手順]

- (1) リリースバルブを時計回りに最後まで締め込んだ状態から、反時計回りに1回転緩めます。
- (2) エア抜きバルブを緩めて外します。
- (3) 準備したオイル受けにオイルを排出します。
- (4) 給油口を上向きにして油圧オイル(作動油)を給油します。
- (5) エア抜きバルブを取り付け締め込みます。
- (6) オイル漏れがないことを確認します。
- (7) エア抜きを行います。

※オイル交換後は、必ずエア抜きを行ってください。

※油圧オイルは市販の作動油を使用してください。

※製品の特性上、接続解除時に少量のオイルが漏れます。

定期的にオイル量を確認し、オイルが少ないときは、オイルの補充を行ってください。

11.トラブルシューティング

- 解決方法を試しても症状が改善されない、また下記以外の症状が発生したときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

状況	原因	対策
油圧ポンプ、油圧ラム、スプレッダーのオイル漏れ	オイルシールの損傷、摩耗 シリンダーの損傷	油圧ポンプ、油圧ラム、スプレッダーを交換してください。
油圧がかからない 油圧ラム、スプレッダーが戻る	オイルラインにエアが混入している	エア抜き作業をしてください。
	リリースバルブを閉じていないため圧力がかからない	リリースバルブを閉じてください。
	油圧ポンプと油圧ラム、スプレッダーの接続不良	接続しなおしてください。
	ホースが損傷している	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
	プランジャの作動不良 内部ボールの作動不良	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
油圧ラム、スプレッダーのストローク量が少ない	オイル量が少ない	オイル量を調節してください。
油圧ラム、スプレッダーが戻らない	オイル量が多い	オイル量を調節してください。

12.保管

保管条件

- 次の保管条件に従い、正しく保管してください。
 - ・ リリースバルブを最後まで締め込み、1回転緩めた状態にする
 - ・ 油圧ラムのシリンダー、スプレッダーは、縮めた状態にする
 - ・ 専用ケースに収納する

保管場所

- 次の場所には、保管しないでください。
 - ・ 高温、多湿、結露する場所
 - ・ 塵やホコリがあり、清掃されていない場所
 - ・ 車内、不安定な棚、大型機械の隣、車道のそばなど、振動が発生する場所やその付近
 - ・ 施錠のできない場所

故障について

- 故障と思われる場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

13.廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。
- 指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

14.個人情報の取り扱い

- ご提示いただいたご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに利用させていただきます。
- 個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

15.製品保証規定

- 保証期間内(購入後180日)に、正常な使用状態で故障が発生した場合に、当社の責任において無償で修理、交換することを約束するものです。保証は、購入レシートまたは納品書、および製品保証書をお買い求めの販売店へ提示してください。

- (1) 製品の保証期間は、購入後180日です。
- (2) 正常な使用状態にて故障した場合は、当社の責任において無償で修理、交換します。
- (3) 本保証は当該製品単体の保証を意味します。製品の故障および損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。
- (4) 本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障、および損傷に関しては、保証対象には含まれません。
- (5) 保証の可否は当社が判定します。
- (6) 購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けます。
- (7) 製品保証は当社および正規販売店で販売した商品のみに有効です。
- (8) 二次的に発生する損失の補償、および次に該当する場合は保証対象には含まれません。

- ・使用上の誤り、保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷
- ・製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障および損傷
- ・消耗品が損傷し、取り替えを要する場合
- ・地震、火災、風害その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷
- ・当社および正規販売店発行の購入レシートまたは納品書、および製品保証書の提示がない場合
- ・取り扱い店以外での修理による故障、修理後の使用においての故障
- ・購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障および損傷

16.修理規定

- 製品保証規定に該当しない場合は、有償修理となり、次の修理規定が適用されます。
- (1) 製品保証規定に該当しない修理は、すべて有償修理となります。
 - (2) 当社以外で、分解、修理、改造、調整などが施されている製品は、修理対象外となります。
 - (3) 修理は、当社および正規販売店で販売した製品に限ります。
 - (4) 修理期間中に、お客様側で生じた傷害や損害に関しては、当社では一切の保証並びに責務を負いかねます。
 - (5) 修理期間中の代替品の貸し出しはいたしません。
 - (6) 当社で修理不可能と判断した製品は、修理に応じかねる場合があります。
 - (7) 修理完了後、同一現象で同一箇所の原因により再修理が必要と当社が認めた場合は修理完了日より90日以内に無償で再修理を行います

17.お問い合わせ先

カスタマーサービス

故障と思われるときや商品についての問い合わせは、カスタマーサービスまでご連絡ください。

048-501-7873

[受付時間] 平日9:00~18:00

[ホームページ] <https://www.astro-p.co.jp>

販売元

株式会社 ワールドツール

〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-50

※住所、電話番号、受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

※上記電話番号が利用できない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

(2025年2月)

MEMO

